文化財モニターツアー

大正・昭和時代へタイムスリップ

豊浦町には、数多くの歴史ある文化財が多くあり、それぞれ保管されていました。その文化財を一箇所に集め整理し、来年度以降の展示運営に向けた「モニターツアー」が10月17日、旧礼文華中学校にて行われました。

ツアーでは、渡邉つづり学芸員と豊浦町教育委員会に勤務されていた福田茂夫さん（伊達市有珠）が大正から昭和にかけて使用されていた生活用品や小幌洞窟の地層の解説などを行い、参加者は大正や昭和の歴史に触れていました。

▲架空の古い町並みを再現

子どもたちの学びを支える

豊浦町教育委員に本所忠夫さん

▲本所 忠夫 委員

豊浦町教育委員会は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育行政の中立、安定性を確保するために置かれ、４人の教育委員で組織されています。

豊浦町議会定例会９月会議において議会の同意を得て、本所忠夫さん（大岸）が、10月１日付で、教育委員に任命（再任）されました。

地域おこし協力隊の活動日記

文／木村　美朝　隊員

【はじめに：日々の活動については、広報の図書室ページ、図書室のインスタ、協力隊のフェイスブック、をぜひ！ご覧ください！】

「図書室に地域おこし協力隊？」きっと皆さんそう思っただろう。なんせ私もそう思ったのだ。ミッションは「図書室をまちづくりの場とすること」。着任してみると、小さな図書室は大きな図書館と違って自然と交流が生まれる場であり、まちづくりに向いていると気付く。さらに私が所属する「社会教育係」は、町民の皆さんと繋がることが大切とされる部署。企画案は次々と生まれ、すでに渋滞している。着任から早半年。感想は“豊浦の人は皆、懐が深い“。いつも温かい気持ちを沢山いただいている。（たまたま良い人にしか出会っていない？！）。外の人をウェルカムするのは容易なことではない。私が縁もゆかりもなかった町のために邁進する訳はここにある。

▲協力隊として図書室で勤務する木村美朝さん

協力隊の活動はフェイスブックで発信中です！

Facebook
https：//www.facebook.com/toyoura.chiikiokoshi/